

会員通信

http://www.toshokangjo.com/
E-mail:toshokangjo@yahoo.co.jp

2006.10.09
NO. 3

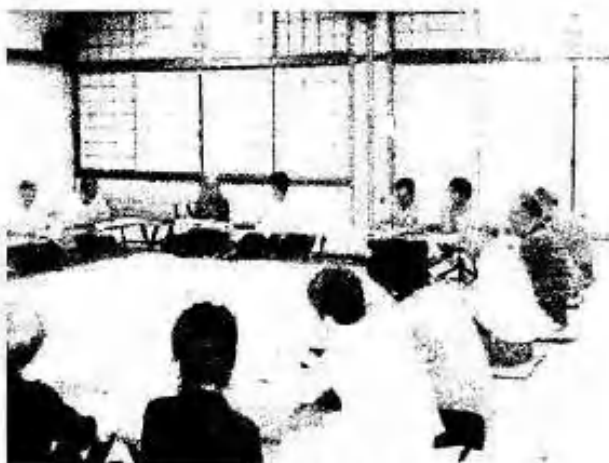
図書館九条の会



発行・「図書館九条の会」事務局

教育基本法改悪 改憲手続法 共謀罪 米軍基地強化にNO!

—図書館九条の会交流会ひらく—



図書館九条の会交流会 撮影・栗川町立図書館 澤田氏

7月9日(日)～11日(火)の3日間、島根県斐川町で図書館問題研究会第53回全国大会がおこなわれました。

大会は、1日目が全体会、シンポジウム、懇親会。2日目に分科会とテーマ別交流会、3日目に全体会という日程でおこなわれましたが、その中で、2日目(7/10)の夜に開かれた4つのテーマ別交流会の中のひとつを「図書館九条の会」が主催しました。

夜7時に始まった「図書館九条の会」の交流会は、大澤正雄さんの主催者挨拶に続いて3つの報告があり、それらの報告のそれぞれに参加者からの質問や関連する討論が白熱して、9時すぎまで続きました。昨年を上回る25人の参加でした。

3つの報告のテーマと報告者は下記のとおり

- 1・岩国基地闘争のいま 稲生 慧さん(岩国市)
- 2・「9条の会・斐川」の運動と図書館 新宮 草一さん(斐川町)

3・憲法・教育基本法・共謀罪はどうなる

佐々木順二さん(東京都)

最初の稲生さんの報告は、戦時中や占領下で、岩国図書館の本が軍により撤収された経験から語り始め、今年の米軍再編について。次の新宮さんの報告は、戦時中の斐川空襲の歴史、平和への取組や図書館づくり運動について、それぞれ詳しく語られました。最後の佐々木さんは、自民党の新憲法草案の分析と戦争する国へ向かう流れの危うさについて熱く語りました。

改憲や教育基本法改悪など、歴史の針を逆戻りさせる力が強まっていますが、今こそそのような力に流されず、真実を見つめる事が大切なのだ、改めて認識させられた交流会でした。

目次

- ① 国研研全国大会・図書館九条の会交流会
- ② 同大会図書館九条の会交流会に出席して
- ③ 九条の会全国交流会
- ④ 緊急学習会
- ⑤ 第2回学習会
- ⑥～⑨ 会員交流・北から南から
- ⑩ 『「図書館九条の会」の本・一』発行
- ⑪ 2005年度決算報告・2006年度予算
- ⑫ 2005年度活動報告・2006年度活動予定

訃報

氏(6月4日)、氏(6月29日)のお二人がご逝去されました。茲にお二人のご冥福をお祈りいたします。『会員交流』欄(08・9)に哀悼の辞を掲載致します。